<総合戦略進行管理表の見方>

資料3-7

令和6年度第1回逗子市総合計画審議会

2024年(令和6年)6月28日

総合戦略

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる									
進捗状況評価									
B:概ね順調であるとみなせる									
指標	合計特殊出生率が1.53になっている。								
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度					1.53
1.41	1.23	1.46 (1.47)	未公表 (1.49)	未公表 (1.51)					
基本的方向									
<ol style="list-style-type: none"> 若い世代が結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境づくりを進める。 子どもたちが学びやすい環境整備をさらに進め、子どもたちの生きる力をより一層高める教育を実践する。 男女が共に働きながら子育てしやすい環境を整えるなど、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを進める。 									

【進捗状況評価】について
次の3段階で評価しています。

A:順調である

B:概ね順調であるとみなせる

C:順調であるとみなせない

基本目標2 逗子市への新しいひとの流れをつくる									
進捗状況評価									
B:概ね順調であるとみなせる									
指標	5年間の転入超過数が累計で1,000人になっている。								
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度				目標
315人(累計1,009人)	458人	633人	605人	〇〇	(1,000人)				1,000人
基本的方向									
<ol style="list-style-type: none"> 逗子市での居住を潜在的に希望している層を、逗子市への移住に確実に結びつけ、逗子市への定住を促進する。 「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「住みたい」という気持ちになるようなシティプロモーションを推進する。 									

基本目標3 逗子市に暮らしながら「しごと」の希望をかなえる									
進捗状況評価									
A:順調である									
指標	個人市民税納税義務者数が28,900人になっている。								
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度				目標
28,165人	28,276人	28,263人	28,726人(28,615人)	〇〇(28,765人)	(28,900人)				28,900人
基本的方向									
<ol style="list-style-type: none"> 東京・横浜への通勤圏に位置する住宅都市として発展してきた逗子市が、快適に「しごと」が行えるよう環境整備を進める。 商工業や漁業など逗子市の地域産業の活性化を図る。 ダイバーシティ(多様性)を受け入れながら、若者、女性、子育て世代が活躍できるよう、就労支援や新たな「しごと」の場などの創出を目指す。 									

【指標の実績】について

・当該年度における想定目標を、()に表記しています。

基本目標4 魅力的で、誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりを推進する									
進捗状況評価									
A:順調である									
指標	「事情が許せば逗子に戻ってきたい」と回答する人の割合が80%になっている。								
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度				目標
78.9%	78.1%	79.1%	84.4%	〇〇					80%
基本的方向									
<ol style="list-style-type: none"> 市民の誰もが逗子市に住んでいることを誇りに思い、「いつまでも住み続けたい」と思えるような魅力的な地域づくりを進める。 市民同士のつながりを深め、安全安心のまちづくりを進める。 誰もがいつまでも健康でいきいきと暮らせるような環境づくりを進める。 									